



# BlackBerry UEM Self-Service

ユーザーガイド



# 目次

<b>BlackBerry UEM Self-Service とは.....</b>	<b>4</b>
<b>BlackBerry UEM Self-Service へのログイン.....</b>	<b>5</b>
ログインパスワードを忘れた場合.....	5
ログインパスワードの変更.....	5
<b>デバイスのアクティベーション.....</b>	<b>6</b>
アクティベーションパスワードまたは QR Code の作成.....	6
QR コードを使用した iOS または Android デバイスのアクティベーション.....	6
iOS デバイスまたは Android デバイスのアクティベーション.....	7
Windows 10 または Windows 10 Mobile デバイスのアクティベーション.....	8
macOS デバイスのアクティベーション.....	10
Apple TV デバイスのアクティベーション.....	10
<b>コマンドをデバイスに送信する.....</b>	<b>11</b>
デバイスのリモートコマンド.....	12
<b>BlackBerry Dynamics アプリのアクセスキーの作成.....</b>	<b>15</b>
<b>BlackBerry Dynamics アプリを管理する.....</b>	<b>16</b>
<b>デバイスへの証明書のインストール.....</b>	<b>17</b>
<b>BlackBerry 2FA を使用する接続でのデバイスプロンプトのバイパス.....</b>	<b>18</b>
<b>商標などに関する情報.....</b>	<b>19</b>

# BlackBerry UEM Self-Service とは

BlackBerry UEM Self-Service は、デバイスをアクティブ化するためのパスワードの作成やデバイスへのコマンドの送信など、特定のデバイス管理タスクを実行できる Web ベースのアプリケーションです。デバイスが紛失または盗難された場合は、デバイスのパスワードをリモートで変更したり、デバイスからデータを削除したりできます。また、BlackBerry Dynamics アプリを管理したり、アクセスキーを作成してそれらのアプリをアクティブ化したりすることもできます。BlackBerry UEM Self-Service を使用するためにコンピューターにソフトウェアをインストールする必要はありません。

アクティベーションプロファイルとデバイスのタイプに応じて、さまざまなオプションとタスクを実行できます。

管理者から、BlackBerry UEM Self-Service へのログインに必要な Web アドレスとログイン情報が提供されます。

# BlackBerry UEM Self-Service へのログイン

管理者によって、BlackBerry UEM Self-Service へログインするために必要な情報が送信されます。

作業を始める前に： 次の情報が必要です。

- BlackBerry UEM Self-Service の Web アドレス
  - ユーザー名とパスワード（これは通常、組織のユーザー名とパスワード）
  - ドメイン名（必要な場合）
1. コンピューターのブラウザで、BlackBerry UEM Self-Service の Web アドレスを入力します。
  2. [ログイン] Web ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。
  3. [次を使用してサインイン:] ドロップダウンリストから認証の種類を選択します。
  4. Microsoft Active Directory 認証を選択する場合は、[ドメイン] フィールドにドメイン名を入力します。
  5. [サインイン] をクリックします。

終了したら： ダイレクト認証を選択した場合は、初回ログイン時に、ログインパスワードを変更するように求められます。

## ログインパスワードを忘れた場合

BlackBerry UEM Self-Service へのログインにダイレクト認証を使用しており、ログインパスワードを忘れた場合は、パスワードを自身でリセットする必要があります。


1. ログイン Web ページで、[パスワードを忘れましたか?] をクリックします。
2. ユーザー名とメールアドレスを入力します。
3. [送信] をクリックします。
4. メールアカウントに送信された一時パスワードを使用して、BlackBerry UEM Self-Service にログインします。

終了したら： 一時パスワードでログインした後、ログインパスワードを変更する必要があります。

## ログインパスワードの変更

組織のユーザー名とパスワードを使用して BlackBerry UEM Self-Service にログインする場合は、ログインパスワードを変更できません。

ダイレクト認証を使用する場合は、BlackBerry UEM Self-Service への初回ログイン時に、ログインパスワードを変更するように求められます。ログインパスワードはいつでも変更できます。

1. BlackBerry UEM Self-Service にログインします。
2. ホーム画面の右上にある  をクリックし、[パスワードを変更] をクリックします。
3. 現在のパスワードを入力します。
4. 新しいログインパスワードを入力して確認します。
5. [送信] をクリックします。

# デバイスのアクティベーション

BlackBerry UEM でデバイスをアクティブ化するときに、デバイスで仕事用メールとその他の仕事関連のデータにアクセスできるように、デバイスを組織の環境と関連付けます。また、管理者に、デバイスの特定の機能の管理を許可します。

デバイスをアクティブ化するために必要な情報が記載されたメールを管理者から受信する必要があります。

メモ：以前にアクティブ化したことがあるデバイスでは、アクティブ化手順を開始する前に、デバイス管理プロファイルがデバイスから削除されていることを確認してください。

アクティベーション中にエラーが発生した場合、または問題が発生した場合は、管理者にお問い合わせください。

## アクティベーションパスワードまたは QR Code の作成

メモ：組織が BlackBerry UEM Cloud を使用している場合には、QR コードは使用できません。

デバイスをアクティブするには、アクティベーションパスワードまたは QR Code が必要です。管理者が BlackBerry UEM で設定した権限に応じて、BlackBerry UEM Self-Service を使用してアクティベーションパスワードまたは QR Code を作成できる場合があります。

1. BlackBerry UEM Self-Service にログインします。
2. デバイスを初めてアクティブ化するのか、アクティブ化されたデバイスがすでにあるかに応じて、**+** をクリックするか、**+** > [デバイスをアクティブ化] をクリックします。
3. [デバイス] ドロップダウンメニューで、アクティブ化するデバイスのタイプを選択します。
4. [アクティベーションパスワードを指定] フィールドと [アクティベーションパスワードを確認] フィールドに、要件を満たすパスワードを入力します。
5. [送信] をクリックします。
6. 確認メッセージに表示される情報を確認します。
  - アクティベーション URL が表示されている場合は、後の手順のためにそれをコピーしておきます。デバイスをアクティブするには、その URL を入力する必要があります。
  - QR Code が表示されている場合は、それを使用してデバイスをアクティブ化できます。手順については、「[QR コードを使用した iOS または Android デバイスのアクティベーション](#)」を参照してください。必要に応じてスクリーンキャプチャを作成し、後で使用することもできます。
7. [閉じる] をクリックします。

## QR コードを使用した iOS または Android デバイスのアクティベーション

組織で許可されている場合は、アクティベーションパスワードの代わりに QR Code を使用して、iOS または Android デバイスをアクティブ化できます。QR Code を使用してデバイスをアクティブ化する場合、情報を入力する必要はありません。

作業を始める前に： QR Code の画像が必要です。この画像は、管理者からのアクティベーションメールで確認できます。また、BlackBerry UEM Self-Service で生成することもできます。手順については、「[アクティベーションパスワードまたは QR Code の作成](#)」を参照してください。

1. デバイスに BlackBerry UEM Client をインストールします。iOS の場合、App Store からアプリをダウンロードします。Android の場合、Google Play からアプリをダウンロードします。
2. デバイスで、[UEM Client] をタップします。
3. ライセンス使用許諾契約書を参照して、[同意する] をタップします。
4. アクティベーションメールで受信した、または BlackBerry UEM Self-Service で生成した QR Code をスキャンします。
5. 画面の指示に従い、デバイスのアクティベーションが完了するまで待ちます。

終了したら： アクティベーションプロセスの正常な完了を確認するには、次のいずれかの操作を実行します。

- デバイスで BlackBerry UEM Client アプリを開いて、[バージョン情報] をタップします。[アクティブ化されたデバイス] および [コンプライアンスステータス] セクションで、デバイス情報とアクティベーションのタイムスタンプが存在することを確認します。
- BlackBerry UEM Self-Service で、デバイスがアクティブ化されたデバイスとして一覧に表示されていることを確認します。ユーザーがデバイスをアクティブ化した後、ステータスの更新に最大で 2 分かかることがあります。

## iOS デバイスまたは Android デバイスのアクティベーション

iOS デバイスまたは Android デバイスをアクティブ化し、組織の環境に関連付けることで、デバイスから仕事用データにアクセスできるようになります。

作業を始める前に：

BlackBerry UEM Self-Service で、[アクティベーションパスワードまたは QR Code の作成](#) を行います。

1. デバイスに BlackBerry UEM Client をインストールします。BlackBerry UEM Client は App Store または Google Play からダウンロードできます。
2. デバイスで、[UEM Client] をタップします。
3. ライセンス使用許諾契約書を参照して、[同意する] をタップします。
4. 仕事用メールアドレスを入力して、[移動] または [次へ] をタップします。
5. 必要に応じて、サーバーアドレスを入力し、[移動] または [次へ] をタップします。サーバーアドレスは、受信したアクティベーションメールまたは BlackBerry UEM Self-Service で確認できます。
6. アクティベーションパスワードを入力し、[デバイスをアクティブ化] をタップします。
7. 次のタスクのいずれかを実行します。

タスク	手順
iOS デバイスのアクティベーションを完了する	<ol style="list-style-type: none"><li>a. [OK] をタップして、必要な証明書をインストールします。</li><li>b. 画面に表示される手順に従って、アクティベーションを完了します。</li><li>c. メールアカウントのパスワードまたはデバイスのパスコードの入力が求められたら、画面の指示に従います。</li></ol>

タスク	手順
Android デバイスのアクティベーションを完了する	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. [次へ] をタップします。</li> <li>b. [アクティブ化] をタップします。</li> <li>c. プロンプトが表示されたら、手順に従ってデバイスに仕事用領域アプリをインストールします。</li> </ul>

終了したら：アクティベーションプロセスの正常な完了を確認するには、次のいずれかの操作を実行します。

- デバイスで BlackBerry UEM Client を開いて、[バージョン情報] をタップします。
- iOS デバイスの場合：[アクティブ化されたデバイス] セクションおよび [コンプライアンスステータス] セクションに、デバイス情報とアクティベーションのタイムスタンプがあることを確認します。
- Android デバイスの場合：[アクティブ化されたデバイス] セクションに、デバイス情報とアクティベーションのタイムスタンプがあることを確認します。
- BlackBerry UEM Self-Service で、デバイスがアクティブ化されたデバイスとして一覧に表示されていることを確認します。ユーザーがデバイスをアクティブ化した後、ステータスの更新に最大で 2 分かかることがあります。

## Windows 10 または Windows 10 Mobile デバイスのアクティベーション

Windows 10 タブレット、コンピューター、または Windows 10 Mobile 電話をアクティブ化し、それを組織の環境に関連付けることで、デバイスから仕事用データにアクセスできるようになります。

作業を始める前に：

- BlackBerry UEM Self-Service で、[アクティベーションパスワードまたは QR Code の作成](#) を行います。
  - BlackBerry UEM で Windows 10 タブレット、コンピューター、または Windows 10 Mobile 電話をアクティブ化するには、証明書をインストールする必要があります。受信したアクティベーションメールで証明書へのリンクを見つけられます。証明書へのリンクを受信していない場合は、サポートのために管理者にお問い合わせください。
1. Microsoft Outlook アプリまたはブラウザのオンラインメールサービスを使用して、受信トレイを開きます。
  2. 受信トレイで、管理者からのアクティベーションメールをタップします。
  3. 証明書サーバーへのリンクをタップします。
  4. 次のタスクのいずれかを実行します。



タスク	手順
Windows 10 タブレットまたはコンピュータに証明書をインストールします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. [証明書を通知ダウンロード] で、[開く] をタップします。</li> <li>b. [証明書のインストール] をタップします。</li> <li>c. [ローカルマシン] オプションを選択します。[次へ] をタップします。</li> <li>d. [次の保存先にすべての証明書を保存する] オプションを選択します。[参照] タップします。</li> <li>e. [信頼済みルート証明書機関] を選択します。[OK] をタップします。</li> <li>f. [次へ] をタップします。</li> <li>g. [完了] をタップします。</li> <li>h. [はい] をタップします。</li> <li>i. [OK] をタップします。</li> <li>j. [スタート] ボタンをタップします。</li> <li>k. [設定] をタップします。</li> </ul>
Windows 10 Mobile 電話に証明書をインストールします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 証明書をタップします。</li> <li>b. [インストール] をタップします。</li> <li>c. [OK] をタップします。</li> <li>d. [Windows] ボタンをタップして、[スタート] メニューに戻ります。</li> <li>e. 左へスワイプして、アプリメニューを開きます。</li> <li>f. アプリメニューで [設定] をタップします。</li> </ul>

5. [アカウント] をタップします。
6. [仕事のアクセス] をタップします。
7. [接続] をタップします。
8. [メールアドレス] フィールドにメールアドレスを入力します。[続行] または [入力] をタップします。
9. サーバーアドレスの入力を求められたら、[サーバー] フィールドにサーバーアドレスまたはアクティベーション URL を入力し、[続行] または [矢印ボタン] をタップします。サーバーアドレスまたはアクティベーション URL は、管理者から受信したアクティベーションメールに記載されているか、アクティベーションパスワードを設定するときに BlackBerry UEM Self-Service で見つけることができます。
10. [アクティベーションパスワード] フィールドにアクティベーションパスワードを入力して [続行] をタップします。アクティベーションパスワードは、管理者から受信したアクティベーションメールに記載されています。または BlackBerry UEM Self-Service で、別のアクティベーションパスワードを設定することもできます。
11. [完了] をタップします。アクティベーションプロセスは完了です。

終了したら：アクティベーションプロセスの正常な完了を確認するには、次のいずれかの操作を実行します。

- デバイスで [仕事用アクセスアプリ] を開いて、アカウントがリストされていることを確認します。アカウントをタップして [情報] を選択します。同期ステータス情報をチェックして、デバイスが BlackBerry UEM に接続されていることを確認します。

- BlackBerry UEM Self-Service で、デバイスがアクティブ化されたデバイスとして一覧に表示されていることを確認します。ユーザーがデバイスをアクティブ化した後、ステータスの更新に最大で 2 分かかることがあります。

## macOS デバイスのアクティベーション

デバイスから仕事用データにアクセスできるように、macOS デバイス（Mac のコンピューターまたはノートパソコン）をアクティブ化し、それを組織の環境に関連付けます。

1. アクティブ化したいデバイスで、管理者から受信したログイン情報を使用し、BlackBerry UEM Self-Service にログインします。
2. デバイスが既に表示されている場合は、[デバイスのアクティブ化] をクリックします。
3. [デバイス] ドロップダウンメニューで、[macOS] をクリックします。
4. [送信] をクリックします。
5. 指示に従って必須プロファイルをインストールし、デバイスのアクティベーションを完了します。アクティベーションが完了すると、デバイスが BlackBerry UEM Self-Service に表示されます。

## Apple TV デバイスのアクティベーション

デバイスで仕事用データにアクセスできるように、Apple TV デバイスをアクティブ化し、それを組織の環境に関連付けます。

作業を始める前に：

- Apple Configurator 2 がインストールされた macOS コンピューターが必要です。
  - USB-C または Micro-USB ケーブル（Apple TV のバージョンにより異なります）が必要です。
  - Apple TV デバイスが監視モードになっていることを確認します。
1. HDMI ケーブルと電源コードを Apple TV デバイスから取り外します。
  2. USB-C または Micro-USB ケーブルを使用して、Apple TV デバイスを macOS コンピューターに接続します。
  3. Apple TV の第 3 世代および第 4 世代のバージョンでは、電源コードを接続します。
  4. macOS コンピューターで BlackBerry UEM Self-Service にログインします。
  5. デバイスを初めてアクティブ化するのか、アクティブ化されたデバイスがすでにあるかに応じて、**+** をクリックするか、**+** > [デバイスをアクティブ化] をクリックします。
  6. [デバイス] ドロップダウンメニューで、[Apple TV] をクリックします。
  7. [送信] をクリックします。
  8. [プロファイルをダウンロード] をクリックします。
  9. [閉じる] をクリックします。
  10. Apple Configurator 2 を開きます。
  11. Apple TV を選択し、[追加] > [プロファイル] をクリックします。
  12. 手順 8 でダウンロードした設定ファイルを選択し、[追加] をクリックします。
  13. アクティベーションが完了すると、デバイスが BlackBerry UEM Self-Service に表示されます。

# コマンドをデバイスに送信する

BlackBerry UEM Self-Service を使用して、さまざまなリモートコマンドをデバイスに送信できます。例：

- デバイスをなくすか盗難にあった場合は、デバイスをリモートでロックしたり、デバイスからデータを削除したりできます。
- iOS または Android デバイスでデバイスパスワードを忘れた場合、デバイスをクリアすることができます。
- iOS、Android または Windows 10 Mobile デバイスを置き忘れた場合、BlackBerry UEM Self-Service を使用して地図上でデバイスを検索できます。
- iOS デバイスまたは Android デバイスを紛失した場合は、紛失モードをオンにしてデバイスをロックし、誰かがデバイスを見つけた場合にメッセージと連絡先情報をデバイスに表示するように設定できます。

BlackBerry UEM Self-Service から送信するコマンドを受信するには、デバイスの電源がオンになっていて、ワイヤレスネットワークに接続されている必要があります。送信できるコマンドは、使用しているデバイスのタイプによって異なります。次の表に、デバイスに送信できるリモートコマンドを示します。

コマンド	iOS	macOS	Android	Windows
デバイスをロック	✓		✓	✓
デバイスパスワードを生成してロック/デバイスパスワードを指定してロック		✓	✓	✓
デバイスをロック解除してパスワードをクリア	✓		✓	
仕事用領域パスワードをリセット			✓	
すべてのデバイスデータを削除	✓	✓	✓	✓
仕事用データのみを削除	✓	✓	✓	✓
デバイスを検索	✓		✓	✓ Windows 10 Mobile のみ
紛失モードのオン/オフを切り替え	✓			



## デバイスのリモートコマンド

リモートコマンドをデバイスに送信できます。アクティベーションプロファイルとデバイスのタイプに応じて、BlackBerry UEM Self-Service ではさまざまなコマンドを使用できます。

1. メニューバーで [マイデバイス] をクリックしてデバイスを選択します。
2. 次の操作のいずれかを実行します。

タスク	説明	手順
デバイスをロック	iOS、Android、または Windows にデバイスパスワードがある場合は、デバイスをリモートでロックできます。デバイスは、既存のデバイスパスワードでロック解除できます。デバイスパスワードを保持していない場合は、デバイスをロックできません。	<ol style="list-style-type: none"><li>a. [デバイスをロック] をクリックします。</li><li>b. [ロック] をクリックします。</li></ol>
デバイスパスワードを設定してデバイスをロック	Android または Windows のデバイスを使用している場合は、デバイスをリモートでロックし、デバイスパスワードを設定またはリセットできます。デバイスはロックされ、新しいパスワードでロック解除できます。  macOS デバイスを使用している場合は、6桁のPINを設定する必要があります。デバイスを再起動すると、PINを入力せずにアクセスすることはできません。	<ul style="list-style-type: none"><li>• Android または Windows デバイスの場合は、次の手順を完了します。<ol style="list-style-type: none"><li>a. [デバイスパスワードを生成してロック] をクリックします。</li><li>b. メールアドレスを入力して [生成] をクリックします。</li></ol></li><li>• macOS デバイスの場合は、次の手順を完了します。<ol style="list-style-type: none"><li>a. [PINを使用したデバイスのロック] をクリックします。</li><li>b. PINを入力し、[送信] をクリックします。</li></ol></li></ul>
デバイスをロック解除してパスワードをクリアします。	iOS デバイスや Android デバイスでデバイスパスワードを忘れた場合は、デバイスをロック解除して、既存のデバイスパスワードをクリアできます。  Android デバイスのロックを解除すると、新しいデバイスパスワードを作成できるようになります。	<ol style="list-style-type: none"><li>a. [デバイスをロック解除してパスワードをクリア] をクリックします。</li><li>b. [ロック解除してクリア] をクリックします。</li></ol>
仕事用領域パスワードをリセット	Samsung Knox Workspace を搭載した Android デバイスを使用している場合は、仕事用領域パスワードをリセットできます。	<ol style="list-style-type: none"><li>a. [仕事用領域パスワードをリセット] をクリックします。</li><li>b. [リセット] をクリックします。</li></ol> <p>デバイスでプロンプトが表示されたら、新しい仕事用領域パスワードを作成します。</p>

タスク	説明	手順
すべてのデバイスデータを削除	<p>デバイスが紛失または盗難された場合、デバイス上のすべてのデータをリモートで削除したいことがあります。このコマンドは、デバイスからすべてのデータを消去し、デバイスを工場出荷時の設定に戻して BlackBerry UEM から無効にします。このデバイスは BlackBerry UEM Self-Service コンソールに表示されなくなります。</p> <p>macOS デバイスの場合は、すべてのデバイスデータを削除するときに PIN も設定します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>a. [すべてのデバイスデータを削除] をクリックします。</li> <li>b. デバイス上のデータプランを保持するには、[データプランの保持] チェックボックスをオンにします。デフォルトでは、データプラン情報は iOS デバイスでは保持されず、Android デバイスでは保持されません。</li> <li>c. 要求を確定するために、[すべてのデバイスデータを削除] をクリックします。</li> </ol>
仕事用データのみを削除	<p>デバイスを置き忘れてしまった場合、デバイスの仕事用データを保護するために、仕事用データをリモートで削除できます。仕事でデバイスを使用しなくなった場合、デバイスの個人用データを削除しないで、仕事用データを削除することができます。[仕事用データのみを削除] コマンドは、仕事用メールとその他の仕事用情報をデバイスから削除して、BlackBerry UEM からデバイスを無効にします。このデバイスは BlackBerry UEM Self-Service コンソールに表示されなくなります。</p> <p>仕事用領域のみを持つ Samsung Knox デバイスの場合、「仕事用データのみを削除」コマンドは「すべてのデバイスデータを削除」コマンドと同じように動作します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>a. [仕事用データのみを削除] をクリックします。</li> <li>b. 要求を確定するために、[仕事用データのみを削除] をクリックします。</li> </ol>

タスク	説明	手順
<p>デバイスを検索</p>	<p>管理者が iOS、Android または Windows 10 Mobile デバイスに対して位置情報サービスプロファイルを設定すると、デバイスを検索できます。BlackBerry UEM Self-Service が地図上で iOS および Android デバイスの位置情報を表示できるようにする前に、プロファイルを承諾する必要があります。Windows 10 Mobile デバイスは、プロファイルを自動的に承諾します。</p>	<p>a. [デバイスを検索] をクリックします。</p> <p>b. 地図上でデバイスを検索するには、次のいずれかのアイコンを使用します。iOS または Android デバイスが最新の位置情報の問い合わせに回答しない場合、プロファイルで位置情報履歴が有効になっていると、地図は直近で取得した位置情報を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 現在の場所 : </li> <li>• 最後に認識された場所 : </li> </ul> <p>アイコンをクリックするかアイコンの上にカーソルを合わせると、緯度または経度のような位置情報や、位置情報がいつ取得されたのか（たとえば、1 分前または 2 分前など）を表示することができます。</p> <p>c. 必要に応じて、位置情報を更新するには [更新] をクリックします。</p>
<p>紛失モードのオン/オフを切り替える</p>	<p>デバイスを紛失した場合は、紛失モードをオンにしてデバイスをロックし、誰かがデバイスを見つけた場合にメッセージと連絡先情報をデバイスに表示するように設定できます。紛失モードがオンになっていると、BlackBerry UEM Self-Service でデバイスが最後に認識された場所を表示できます。デバイスが見つかったら、紛失モードをオフにします。</p>	<p>a. [紛失モードをオンにする] をクリックします。</p> <p>b. [連絡先の電話番号] と [メッセージ] フィールドに、適切な情報を入力します。</p> <p>c. オプションで [「スライドでロック解除」テキストを置換] チェックボックスをオンにし、表示するテキストを入力します。</p> <p>d. [有効] をクリックします。</p> <p>デバイスの場所を表示するには、[デバイスの位置の取得] をクリックします。</p> <p>紛失モードをオフにするには、[紛失モードをオフにする] をクリックします。</p>

# BlackBerry Dynamics アプリのアクセスキーの作成



デバイスが BlackBerry Dynamics で有効になっている場合は、アクセスキーを使用して BlackBerry Dynamics アプリをアクティブ化する必要があることがあります。管理者が権限を付与している場合は、BlackBerry UEM Self-Service を使用してアクセスキーを作成できます。アクセスキーは 15 文字の英数字のシーケンスです。

アクセスキーには次の特性があります。

- 1 回限りの使用に限定されています。アプリケーションを再アクティブ化する必要がある場合は、新しいアクセスキーを使用する必要があります。
- 特定のアプリに固有のものではありません。アクセスキーは任意の BlackBerry Dynamics アプリに使用できます。
- 指定した期間が経過すると、期限切れになります。

1. メニューバーで [マイデバイス] をクリックしてデバイスを選択します。

2. 次の 2 つの方法のいずれかでアクセスキーを作成できます。

-  をクリックし、[BlackBerry Dynamics アクセスキーを生成] をクリックします。アクセスキーを書き留めたら、[閉じる] をクリックします。
- メニューバーで [アクセスキー] をクリックし、 をクリックします。新しいアクセスキーが表に自動的に表示されます。

終了したら：アクセスキーとその有効期限のリストを表示するには、左画面で [アクセスキー] をクリックします。このリストには、ユーザーまたは管理者が生成したアクセスキーが含まれています。アクセスキーを使用してアプリをアクティブ化すると、キーがリストから削除されます。

# BlackBerry Dynamics アプリを管理する

デバイスで BlackBerry Dynamics が有効になっていて、デバイスに BlackBerry Dynamics アプリがインストールされている場合、BlackBerry UEM Self-Service を使用してアプリを管理できます。QR コードを使用してアプリのロックを解除するには、BlackBerry Dynamics SDK バージョン 8.0 以降を使用する必要があります。

1. メニューバーで [マイデバイス] をクリックしてデバイスを選択します。
2. [アプリ] タブをクリックします。
3. アプリアイコンをクリックし、次のタスクのいずれかを完了します。

タスク	説明	手順
アプリをロックする	ユーザーまたは管理者がアプリをロックすると、誰もアプリを起動できなくなります。	<ol style="list-style-type: none"><li>a. [アプリをロックする] をクリックします。</li><li>b. [ロック] をクリックします。</li></ol>
アプリのロックを解除する	アプリは、認証やコンプライアンスの問題など、さまざまな理由でロックされる可能性があります。また、ユーザーまたは管理者がアプリをロックすることもできます。アプリのロックを解除するには、ロック解除キーまたは QR コードを使用する必要があります。	<ol style="list-style-type: none"><li>a. [アプリのロックを解除する] をクリックします。ロック解除キー、QR コードアイコン、および有効期限が表示されます。</li><li>b. 必要に応じて、QR コードをタップします。</li><li>c. デバイスでアプリを開き、次のタスクのいずれかを完了します。<ul style="list-style-type: none"><li>• ロック解除キーを入力します。ダッシュは含めないでください。</li><li>• [QR コードをスキャン] をタップし、[許可] をタップして権限を許可し、QR コードをスキャンします。</li></ul></li><li>d. [閉じる] をクリックします。</li></ol>
アプリデータを削除する	アプリデータを削除すると、アプリで保存されたすべてのデータが削除されますが、アプリ自体は削除されません。アクセスキーを使用してアプリを再アクティブ化する必要があります。	<ol style="list-style-type: none"><li>a. [アプリデータを削除する] をクリックします。</li><li>b. [削除] をクリックします。</li></ol>



# デバイスへの証明書のインストール

デバイスが証明書に基づく認証を使用して組織の環境内のネットワークまたはサーバーに接続している場合は、証明書をアップロードしてデバイスで使用することができます。

作業を始める前に：必要な証明書のタイプと場所、および追加先の証明書リストについて、管理者からの指示があることを確認します。

1. メニューバーで「証明書」をクリックします。
2. 次のタスクのいずれかを実行します。

タスク	手順
BlackBerry Dynamics 対応デバイス、または他の管理対象の iOS デバイスおよび Android デバイスにユーザー証明書を追加する	<ol style="list-style-type: none"><li>a. <b>+</b> をクリックします。</li><li>b. 証明書の説明を入力します。</li><li>c. 証明書を BlackBerry Dynamics 対応デバイスに適用するか、他の管理対象の iOS デバイスおよび Android デバイスに適用するかを選択します。</li><li>d. 「証明書ファイル」フィールドで、「参照」をクリックして証明書ファイルを見つけます。</li><li>e. 証明書のパスワードを入力します。</li><li>f. 「追加」をクリックします。</li></ol>
割り当てられたクライアント証明書を iOS デバイス、または仕事用領域のある Android デバイスに追加する	<ol style="list-style-type: none"><li>a. 「クライアント証明書を追加」をクリックします。</li><li>b. 「証明書ファイル」フィールドで、「参照」をクリックして証明書ファイルを見つけます。</li><li>c. 証明書のパスワードを入力します。</li><li>d. 「追加」をクリックします。</li></ol>

終了したら：デバイスにプロンプトが表示されたら、証明書をダウンロードします。

# BlackBerry 2FA を使用する接続でのデバイスプロンプトのバイパス

BlackBerry 2FA（2要素認証）を使用して組織のリソースにアクセスする場合、デバイスに接続を承認するように求めるプロンプトが表示されます。接続を確立するには、デバイスで [確認] をタップする必要があります。

デバイスを紛失したか、ネットワーク接続されていないためにデバイスを使用できない場合は、BlackBerry 2FA からデバイスプロンプトをバイパスできます。たとえば、一部の航空会社のフライトでは、1台のデバイスしか Wi-Fi に接続できません。コンピューターが Wi-Fi に接続されていると、デバイスが組織のリソースにアクセスしようとしても、接続を承認するように求めるプロンプトは表示されません。

事前認証を設定することで、デバイスプロンプトをバイパスできます。管理者が事前認証を設定することも、ユーザーが BlackBerry UEM Self-Service で設定することもできます。

1. 左側のメニューバーで、[**BlackBerry 2FA**] をクリックします。
2. デバイスプロンプトをバイパスする必要がある時間を入力します。
3. [事前認証を要求] をクリックします。

終了したら：デバイスが再び使用できるようになり、デバイスプロンプトをバイパスする必要がなくなったら、BlackBerry UEM Self-Service にログインし、[**BlackBerry 2FA**] > [今すぐ期限を終了する] をクリックします。

# 商標などに関する情報

©2024 BlackBerry Limited. BLACKBERRY、BBM、BES、EMBLEM Design、ATHOC、CYLANCE、SECUSMART などの商標（ただし、これらに限定されるとは限らない）は BlackBerry Limited、その子会社および関連会社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用され、当該の商標に対する独占権は明確に留保されています。その他すべての商標は各社の所有物です。

該当する特許は、次の場所で確認できます：[www.blackberry.com/patents](http://www.blackberry.com/patents)。

本書は、参照用として本書で取り上げるすべての文書（提供される文書または BlackBerry の Web サイトで参照可能な文書）を含めて「現状のまま」または「参照可能な形で」提供されるか、またはアクセスすることができ、BlackBerry Limited およびその関連会社（「BlackBerry」）はいかなる条件付け、承認、表明、または保証もしないものとし、BlackBerry は本書の誤記、技術的な誤りまたはその他の誤り、エラー、遺漏について何ら責任を負いません。BlackBerry の所有権、機密情報および/または企業秘密を保護するため、本書では一部の BlackBerry テクノロジーの側面を一般化された用語で記述している場合があります。BlackBerry は、本書に含まれる情報を定期的に変更する権利を留保します。ただし、BlackBerry には、本書への変更、更新、拡張、または他の追加を適時ユーザーに提供する義務はないものとします。

本書は、第三者をソースとする情報、ハードウェアまたはソフトウェア、製品またはサービス（コンポーネントや、著作権保護されたコンテンツなど）、および/または第三者の Web サイト（これらをまとめて「サードパーティ製品およびサービス」という）への参照を含んでいる可能性があります。BlackBerry は、サードパーティ製品およびサービスの内容、正確性、著作権遵守、互換性、性能、信頼性、適法性、品格、リンク、他の側面などに限定することなく、サードパーティ製品およびサービスを一切管理することなく、責任も負いません。本書においてサードパーティ製品およびサービスを参照することは、BlackBerry がサードパーティ製品およびサービスまたは第三者を保証することを意味するものではありません。

該当する司法管轄地域の適用法で明確に禁じられている場合を除き、本書で参照されているソフトウェア、ハードウェア、サービス、またはサードパーティ製品およびサービスについて、耐久性、特定の目的または使用に対する適合、商品性、適性品質、権利侵害の不存在、品質満足度、権原、または制定法、慣習法、取引過程、商慣習から生じる、本書またはその使用に関する、または性能または性能の不履行に関する条件付け、承認、表明、保証などに限定することなく、明示的または黙示的に、いかなる条件付け、承認、表明、または保証も除外されます。ユーザーは、国や地域によって異なる他の権利を有する場合があります。一部の司法管轄地域では、黙示的な保証および条件の除外事項または限定事項は禁止されています。法律で認められている範囲で、本書に関連する黙示的な保証または条件は、上記に定めるように除外できないが限定できる場合、ユーザーが本書または該当する対象物を初めて入手してから 90 日間に限定されます。

該当する司法管轄地域の適用法で認められている最大限の範囲で、本書またはその使用に関連して、または本書で参照されているソフトウェア、ハードウェア、サービス、またはサードパーティ製品およびサービスの性能または性能の不履行に関連して、直接的、必然的、典型的、偶発的、間接的、特殊的、懲罰的、または加重的損害、金銭的損失による損害（利益または収益の損失、予想される貯蓄の未達成、事業の中断、ビジネス情報の消失、ビジネス機会の喪失、データの破損または消失、データの送受信の失敗、BlackBerry 製品またはサービスと併用したアプリケーションに関連する問題、ダウンタイムコスト、BlackBerry 製品またはサービスあるいはその一部の使用機会や通信サービスの使用機会の喪失、代替品コスト、保険料、設備費、保守費、資本コストなど）に限定することなく、損害を予想できたかどうかを問わず、BlackBerry が損害の可能性について勧告を受けていた場合を含め、いかなる場合においても、BlackBerry はいかなる損害の責任も負わないものとします。

該当する司法管轄地域の適用法で認められている最大限の範囲で、契約、不法行為、またはユーザーに対する過失責任または厳格責任について、BlackBerry は他のいかなる義務、責務、または責任も負わないものとします。

本書の限定事項、除外事項、および免責事項は、（A）訴訟原因、請求、またはユーザーによる行為（契約違反、過失、不法行為、厳格責任、その他の法理論など）の性質に関係なく、この契約の基本目的または本書に記載されている救済策の根本的違反または不履行を免れるため、（B）BlackBerry およびその関連会社、その後継

者、譲受人、代理業者、納入業者（通信事業者を含む）、認可された BlackBerry 販売業者（通信事業者を含む）およびその取締役、従業員、および請負業者に適用されます。

上記に定める限定事項および除外事項に加えて、いかなる場合においても、BlackBerry の取締役、従業員、代理業者、販売業者、納入業者、請負業者または BlackBerry の関連会社は、本書に起因または関連する責任を負わないものとします。

ユーザーは、サードパーティ製品およびサービスの加入、インストール、または使用前に、通信事業者がサードパーティ製品およびサービスのすべての機能をサポートすることに同意していることを確認する責任を負います。一部の通信事業者は、BlackBerry® Internet Service への加入によるインターネット閲覧機能を提供しない場合があります。サービスの利用、ローミング、サービスプラン、その他の機能については、通信事業者に問い合わせてください。BlackBerry 製品およびサービスにおけるサードパーティ製品およびサービスのインストールまたは使用には、第三者の権利を侵害または妨害しないように、特許、商標、著作権、または他のライセンスが必要になる場合があります。ユーザーは、サードパーティ製品およびサービスを使用するかどうかを決定し、使用するためにサードパーティライセンスが必要かどうかを確認する責任を負います。必要な場合、ユーザーはライセンスを取得する責任を負います。ユーザーは、必要なライセンスをすべて取得するまで、サードパーティ製品およびサービスをインストールまたは使用してはなりません。BlackBerry 製品およびサービスで提供されるサードパーティ製品およびサービスは、ユーザーの便宜のために「現状のまま」提供され、BlackBerry は明示的にも黙示的にもいかなる条件付け、承認、表明、または保証もしないものとし、BlackBerry はそれに関連するいかなる責任も負わないものとします。ユーザーによるサードパーティ製品およびサービスの使用は、ライセンスまたは BlackBerry との他の契約で明示的に対象になっている場合を除き、個別のライセンスおよび第三者との他の該当契約の条件に従うものとし、その制約を受けるものとします。

BlackBerry 製品またはサービスの使用条件は、個別のライセンスまたは BlackBerry との他の該当契約に定められています。本書の内容は、本書以外に BlackBerry 製品またはサービスの一部に対して BlackBerry が提供した文書による明示的な契約または保証を破棄するものではありません。

BlackBerry Enterprise Software には、特定のサードパーティ製ソフトウェアが組み込まれています。このソフトウェアに関連するライセンスおよび著作権情報は、<http://worldwide.blackberry.com/legal/thirdpartysoftware.jsp> でご確認いただけます。

BlackBerry Limited  
2200 University Avenue East  
Waterloo, Ontario  
Canada N2K 0A7

BlackBerry UK Limited  
Ground Floor, The Pearce Building, West Street,  
Maidenhead, Berkshire SL6 1RL  
United Kingdom

Published in Canada